

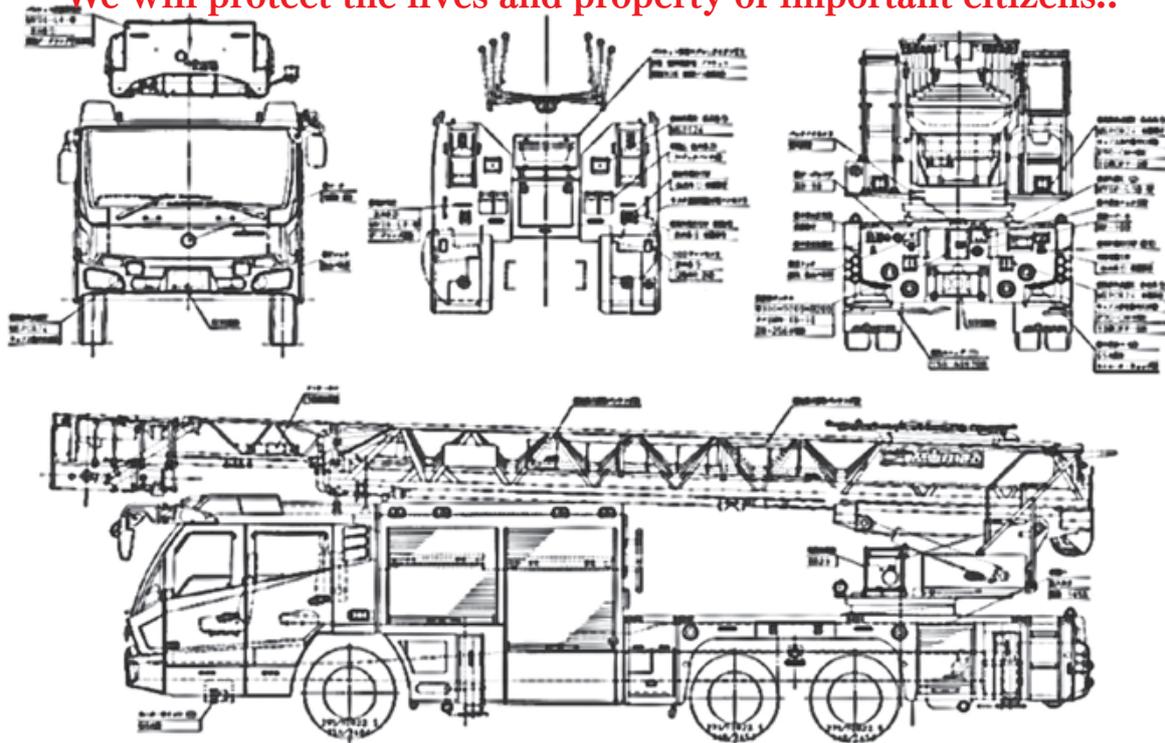
旭市消防本部

しほほうだより
第18号



大切な市民の生命・財産を守ります！

We will protect the lives and property of important citizens.!



第18回防火ポスター展

最優秀作品(旭市長賞)紹介

主催 旭市消防本部 共催 旭市危険物安全協会



富浦小学校
4年生 清野 敦士 さん



嚶鳴小学校
5年生 小澤 七歌 さん



干潟中学校
1年生 伊藤 瑠美 さん



海上中学校
2年生 浜城 結菜 さん

お出かけは マスク戸締り 火の用心 2022年度全国統一防火標語



旭市消防長
伊東 秀貴

しょうぼうだより第18号の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。
市民の皆様をはじめ関係各位には、平素から本市消防行政の発展並びに火災予防につきまして格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染者数は、増加・減少の波を繰り返し、今尚、人々の生活、経済、医療に影響を与えております。しかし、その対策は、生活や経済等に多くの活動制限を設けた以前の対策とは違い、基本的感染対策の徹底やリモートワークを中心とした働き方など、新しい生活様式を実践しつつ社会経済活動を進めていく対策に変わりました。一方で、救急出動件数は、令和3年の活動制限時は2,613件でしたが、令和4年は3,211件と大幅に増加しており、これらは社会活動や人々の行動が活発化してきたことが要因と考えられます。今後も各種出動の増加が見込まれますが、引き続き感染症対策を徹底し万全な態勢で対応してまいります。

災害に関しましては、日本全国で集中豪雨による土石流災害や台風、大雪、地震等の自然災害によって多くの生命と財産が脅かされました。旭市は、毎年発生する災害や火災に対応するために【旭市総合防災訓練】、【文化財火災防ぎょ訓練】、【春季総合消防訓練】を実施しており、令和5年1月には、雷神社で文化財火災防ぎょ訓練を実施いたしました。これは、コロナ禍前の令和2年2月に実施した春季総合消防訓練から約3年ぶりの実動訓練であり、改めて訓練の重要性と市民が訓練に参加する必要性を認識いたしました。私たち消防職員も、災害から市民の生命及び財産を守るため、市民の安全・安心のニーズに応えるべく、日々精進を重ね、新たな消防技術の習得と訓練に務めてまいります。

市民の皆様には、多くの災害が発生する中、自助、共助の備えや地域防災力向上への取り組みを継続していただきますようお願い申し上げます。私たちは、「災害に強い安全なまちづくり」・「安心して暮らせる社会」を確保していくため、消防団及び関係機関と一致団結し、災害対応力の強化、防災、減災、安全対策の推進に大きな使命感と責任感をもって取り組んでいく所存でございます。

今後も消防行政の運営に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

消防関係表彰受章者の紹介

正七位 *瑞宝双光章

(故) 田村 利夫 さん

昭和46年に旭市外三町消防組合に拝命されました。生前中は、警防技術の向上や火災防御体制の充実強化に取り組み、火災予防面においても、常に地域に密着した姿勢で献身的に貢献されました。

令和4年春の叙勲 *瑞宝単光章

鈴木 格 さん

昭和50年に入団以来、消防の重要性を深く認識し、豊かな包容力と責任感をもって職務に精励し、その人柄は、団員はもとより多くの消防関係者から信望も厚く、優れた指揮統率力で消防活動に広く貢献されました。

第38回危険業務従事者叙勲 *瑞宝双光章

品村 順一 さん

昭和50年に東京消防庁に入庁後、旭市外三町消防組合に奉職し、42年にわたり、全国でも有数の救助隊を築き上げました。また、消防長として消防本部の発展と市民の生命と財産の保護に貢献されました。

令和4年 火災・救急・救助統計

(令和4年1月～令和4年12月)

地域別火災発生件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域	
出火件数	33	18	2	8	5	
火災 種別	建物	18	7	1	6	4
	林野	0	0	0	0	0
	車両	1	0	1	0	0
	船舶	0	0	0	0	0
	その他	14	11	0	2	1
死者数	1	0	0	0	1	
負傷者数	1	0	0	0	1	
損害額 (千円)	60,634	14,386	1,479	16,460	28,309	

※損害額については概数です。

地域別救急出動件数

地域別 種別	計	旭 地域	海上 地域	飯岡 地域	干潟 地域	管外
出動件数	3,211	1,881	485	464	329	52
火災	22	9	4	5	4	0
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難事故	7	2	0	5	0	0
交通事故	261	171	41	24	20	5
労働災害	41	22	8	5	6	0
運動競技	8	2	2	2	2	0
一般負傷	398	234	70	52	37	5
加害	11	6	4	1	0	0
自損行為	36	23	5	3	3	2
急病	2,303	1,319	345	351	250	38
その他 (管外搬送含)	124	93	6	16	7	2

救助出動件数

区別 種別	件数	死者 数	負傷 者
計	44	5	36
交通事故	21	3	23
水難	5	1	2
建物等 による 事故	10	1	6
機械に よる事故	3	0	3
その他	5	0	2



点検していますか？ 住宅用火災警報器

日々私達の暮らしを見守る住宅用火災警報器。
定期的に点検し 10年経ったら取替えましょう！

点検方法



ボタンを押して点検します。
ひもを引くタイプもあります。



正常を知らせる音やメッセージが
流れます！



何も反応しない、または異常を知らせる
メッセージが流れます。
すぐに取替えましょう！

**10年たったら、
とりカエル。**
お宅の火災警報器の話です。



住宅用火災警報器は、
10年を目安に、とりカエル！
わが家と家族を守る基本です。

住宅用火災警報器の設置助成金制度があります！

対象世帯

市内に住所を有し、全員が75歳以上で市税の滞納がない世帯

設置場所

寝室及び2階に寝室がある場合には階段

助成金額

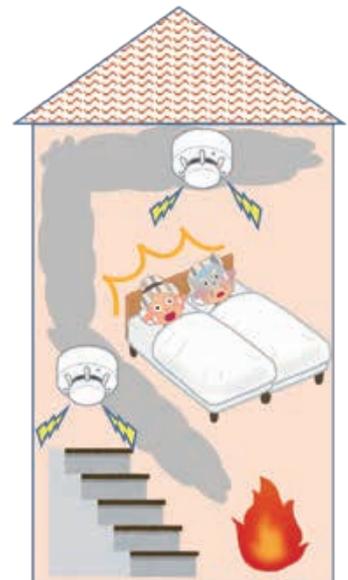
設置又は交換に要した費用の2分の1の額（5千円が上限）

ご希望の方は購入前に消防本部までご連絡ください。

※購入してからでは助成を受けられません。

旭市消防本部予防課 0479-63-5356

お気軽にご相談ください。



知ってる？サイレンの音の違い

皆さんが日ごろから耳にする救急車のサイレンの他に、消防車が出動する時のサイレンの音が違うことを知っていましたか？火災に出動するときは「ウーカンカン」と警鐘付きのサイレンを鳴らして出動し、帰ってくるときは「カンカン」と警鐘を鳴らして帰ってきます。これからも消防活動に対するご理解とご協力をお願いします。



救急出動

ピーポー
ピーポー

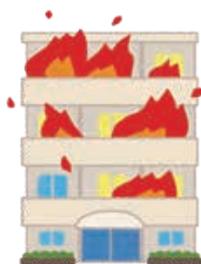


搬送完了



火災出動

ウー
カンカン



火災鎮火

カンカン
カンカン



救助出動

ウー
ウー



救助完了

火事と救急は119番 旭市消防本部 消防署



平成25年4月から、旭市内で**119番通報**すると「**ちば消防共同指令センター**」につながり、そこから指令を受けて消防車や救急車が出動していますが、時々、旭市消防本部へ「救急車をお願いします」などの緊急の電話が掛かってきます。救急車や消防車が早く現場に到着する為にも、**直接119番通報**をお願いします。また、令和2年から聴覚に障害のある方や、言葉での通報に不安がある方のために、「**NET119緊急通報システム**」の運用も開始されています。詳しくお知りになりたい方は下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 旭市消防本部警防課 通信班 0479-63-0119

救急車 こんなとき 119



反応がない・呼吸をしていない・けいれんはすぐに！

頭が痛い

強い吐気がある、吐いた
経験したことのないくらい痛い
殴られたような痛み
手足がしびれる、動かない
しゃべりづらい など

胸が痛い

締め付けられる、裂けるような痛み
20分以上続いている
息苦しい
手足が冷たい など

おなかが痛い

急に痛くなった
お腹の他に胸、背中が痛い
便や吐いたものに
血が混ざっている など

その他

交通事故、
高い所から落ちた
溺れた、広範囲のやけど
ものが喉につまった など



緊急だと思ったら、ためらわず 119 番通報を！！



救急車を呼ぶか迷った時には救急電話相談・アプリ等もあります！

千葉県救急安心電話相談
#7009

救急安心センター事業
#7119

こども急病電話相談
#8000

全国版救急受診アプリ
Q助

Q助 QRコード



救急隊が現場へ着くまでの間、必要な情報を得るために救急隊の携帯電話で連絡することができます。通話が可能であればご協力をお願いします。

もしもし 救急隊です



いざというときに必要な方が救急車を使えるよう **適正利用** にご協力をお願いします。



守護るクルマたち

ごとに役割が違います。皆さん見分けはつきますか？
財産を守っています。



救助工作車Ⅱ型

全長 7550 mm×幅 2300 mm×高さ 3130 mm
総重量 11160 kg 四輪駆動 乗車定員 6 人

救助要請があれば出動する車です。
ウインチや照明、クレーンなど各種救助資機材が
積載された最後の砦！



資機材搬送車

全長 7070 mm×幅 2240 mm×高さ 3230 mm
総重量 6555 kg 四輪駆動 乗車定員 3 人

他の車両に積みきれなかった資機材を積んで現場
へ搬送する車です。



高規格救急自動車

全長 5330 mm×幅 1880 mm×高さ 2490 mm
総重量 3245 kg 四輪駆動 乗車定員 7 人

ご存じ救急車。
日夜活躍、その数、年間約 3200 件
各隊に救急救命士が乗車し高度な処置が行える資
器材を積載しています。



30m級伸縮水路付先端屈折式はしご車

全長 10650 mm×幅 249 mm×高さ 3600 mm
総重量 20150 kg 四輪駆動 乗車定員 6 人

高さはなんと 30m、建物 10 階に相当。
先端は屈折式になっており、放水をすることも
可能です。

わたしたちの町を

ここでは消防車両を紹介します。一見似たような車両ですが各車両旭市消防本部では20台以上からなる車両で皆さんの生命 身体及び



現場指揮自動車

全長 4600 mm×幅 1820 mm×高さ 1910 mm
総重量 1875 kg 四輪駆動 乗車定員 5人

災害現場の責任者である大隊長をはじめ、指揮、情報担当者が乗車して災害現場を統括、出動部隊の指揮を行う車です。



水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型

全長 6950 mm×幅 2200 mm×高さ 2750 mm
総重量 7980 kg 四輪駆動 乗車定員 6人

災害現場の最前線に行く車です。
なんと2000ℓの水(お風呂約10杯分)を積んでいます。



災害対応特殊化学消防自動車Ⅱ型

全長 7030 mm×幅 2330 mm×高さ 3030 mm
総重量 10870 kg 四輪駆動 乗車定員 6人

危険物火災など、水では消火できない火災にも対応ができる車です。
水のほかに泡消火薬剤を積んでいて、水と薬剤を混合し泡放射することで消火を行います。



消防ポンプ自動車CD-I型

全長 5770 mm×幅 1920 mm×高さ 3000 mm
総重量 5980 kg 四輪駆動 乗車定員 5人

水槽車の水が無くなるまでに水を送ることが主な仕事です。
時間との戦い! 水槽車の良き相棒。
毎分最大2000ℓの送水が可能です。



はしご登はん訓練

ロープで命綱を作り、垂直15mのはしごを登る、安全確実性とタイムを競い合う種目です。




ロープブリッジ救出訓練

4人1組で行われる種目で、水平に張られたロープを渡り、対面する塔上にいる要救助者を協力して救出する、安全確実性とタイムを競い合う種目です。




ロープ応用登はん訓練

2人が協力して地上高15mの地点まで道具を使わずロープを登る、安全確実性とタイムを競い合う種目です。




ロープブリッジ渡過訓練

水平に張られた20mのロープを行きはセーラー渡過、帰りはモンキー渡過という渡り方で往復する、安全確実性とタイムを競い合う種目です。




ほふく救出訓練

3人1組で行われる種目で、進入者が空気呼吸器を着装、補助者が進入者の命綱を作り、煙道の先にいる要救助者を協力して救出する、安全確実性とタイムを競い合う種目です。




旭市の公式 You Tube チャンネルに各種目の動画を載せています！救助隊の**技術の高さ**、**力強さ**を目で感じられると思いますので、御覧下さい。

わがまちの消防団員紹介

自分たちのまちは自分たちで守る!!



なかなかコロナウイルスが収束しないなか、少しずつではありますが、感染対策を徹底し、訓練や活動が再開されています。少ない時間ですがご指導いただいた事を活かし災害発生、防災活動時に的確に行動、指示ができるようにより一層励んでまいります。

第5中隊
副中隊長 石田 和也



今後も地域への貢献ができる行動をしていきたいと思っておりますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

コロナ禍で訓練や活動が減ってしまいましたが、災害や火災はいつ発生するかわかりません。改めて団員一丸となり、臨機応変に対応し地域の防災に努めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

第3中隊第2分団
分団長 遠藤 祐太



昨今のコロナ禍の影響もあり、自分が団員だった頃に比べ取り巻く環境は厳しくなっていると感じました。それでも、地域防災に対する責任や重要性は変わりません。しっかりと対応できる様、団員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

第2中隊第5分団
副分団長 高上 欣也



消防団員として火災現場への出動及び消火栓の点検、地域イベントの警備等いろいろな活動がありますが、どれも人命救助に直結することばかりです。

第1中隊第2分団第2部
部長 鈴木 孝和



コロナ禍でどの活動もままならないことばかりですが、消防団員であることへの誇りと使命感を持ち、地域に貢献したいです。

私が消防団に入団してから早19年、今回千葉県知事功労章という荣誉ある章を頂き大変光栄に思うと同時に、多くの先輩方、仲間達に感謝の気持ちでいっぱいです。

第4中隊
中隊長 宮内 利朗



時代が変わり、消防団への入団が敬遠される昨今ですが、同じ地域に住む者同士、活動を通じて仲間意識を作っていくことは、とても大切です。「自分達の町は、自分達で守る!!」の郷土愛でこれからも、皆さんと一緒に地域へ貢献して参ります。



消防団活動日誌



ホース結合訓練

中隊ごとに会場を分け、**消防団全体訓練**を行った。火災現場等で使用する資機材取扱について消防職員から指導を受け、資機材を使用して、訓練を行った。

令和四年五月八日(日)晴



消防職員によるホース取扱説明

消防本部において、新入団員を対象に**新入団員研修**を行った。消防職員から、火災現場等で使用する資機材取扱についての説明を受け、実際に使用することで取扱いを学ぶことができた。



部長研修

干潟公民館において、各部の部長を対象に**部長研修**を行った。部長としての責務や普段の活動に対する注意点等説明があり、部長としての活動を学ぶことができた。

令和四年四月三日(日)雨



広報活動

消防出初式終了後、イオンタウン旭で**消防団広報活動**を行った。消防団の活動時の写真をパネルに掲示し、消防団の活動や、募集について書かれたチラシを配布することによって、消防団への理解と募集を呼び掛けた。



受章者代表謝辞

東総文化会館において、**消防出初式**が行われた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小し、関係者のみの参加となったが、表彰状の授与等厳粛に行われた。

令和五年一月七日(土)雨のち晴



夜間警戒活動

火災の発生が多くなる年末の夜間に市内全域で、二日間に渡って**歳末警戒**を行った。警鐘を鳴らして、火災予防を呼び掛けながら、各地域を巡回することで地域の安全を守った。

令和四年十二月二十九日(木)晴
令和四年十二月三十日(金)晴



旭市消防団
団長 加瀬 一雄

令和5年団報の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。まず、市民の皆様方には、日頃より消防団活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますと共に、消防団員皆さんの熱心な消防防災活動に対して感謝申し上げます。

令和4年4月に団長を拝命してから1年が経過しました。コロナウィルスの影響で、消防行事、通常の訓練等も例年どおりに行うことができない状況でした。近年は異常気象の影響で、いつどこでどんな災害が発生するか分かりません。特に集中豪雨による水害は、各地に土砂崩れや河川の氾濫等甚大な被害を引き起こしています。旭市では幸い、災害や台風の被害が少なかったことに安堵しております。私たち消防団の使命は郷土愛、自分たちの地域は自分たちで守ることだと思います。それには、自分を守る基礎訓練は必要不可欠です。器具機材の取り扱いや操法訓練も火災防御の為には、自分自身を守る大切な訓練だと思います。

また、消防団員を取り巻く環境は年々厳しく、特に新入団の確保は、どこの地域でも大きな課題となっております。団員確保に向けて団員が入団しやすく、やり甲斐を感じることが出来る環境づくりを目指していきたくと思います。

これからも市民の皆様方にご理解ご協力をいただきながら、安全・安心なまちづくりに貢献すべく消防団一丸となり、地域防災に努めてまいりたいと思います。「自分たちのまちは、自分たちで守る」という消防団の理念を是非ご理解を頂き、皆様方からのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

教えて、消防団!!

Q1 消防団員とは?

A 消防団員は、会社員など本業を持っている傍らで、火災や災害時には消火活動等を行う、非常勤特別職の地方公務員です。

Q2 どんな活動をしているの?

A 日頃より災害に備え、消防団車両や機材の点検、防火啓発活動などを行っています。火災や台風などの災害時には、消火活動・避難誘導・警戒活動を行います。

Q3 旭市消防団の組織は?

A 旭市消防団は、1本部・5中隊・16分団・47部734名の団員で構成されております。

※令和4年4月1日現在

今、あなたの力が必要です!!

消防団員は年齢も職業もさまざまな方が集まり、地域の安全・安心を守るために活躍しています。

地元の方々とも良好な関係を築くことができ、火災等の出動時には手当でも支給されます。

あなたも地域防災の要である消防団員として、**旭市の安全と安心のために**活躍してみませんか?

入団資格は

- ・旭市内に在住又は在勤している方
- ・18歳以上の心身ともに健康な方

【お問い合わせ】

旭市消防本部

総務課 消防団班

TEL 0479-63-5355



消防団サポート店を大募集!!

この制度は、市内の事業所(飲食店など)が旭市の消防団員やその家族などに、割引など独自の優遇措置を実施することで、消防団員の確保を図り、地域の防災力の強化を推進することを目的としています。また、お店にとっても集客力アップやイメージアップなどの効果も期待できます。

消防団を応援したい!協力するよ!そんな温かいお店を募集しています。

ご協力いただける方は、QRコードより詳細を確認のうえ申請書を消防本部総務課消防団班までご提出ください。



QRコード

[名刺サイズ]



団員が持つ
サポートカード

[A4サイズ]



店舗へ飾る
表示証



旭市消防団 団報あさひ



まちも自分も 守るため 行う訓練



～自分たちのまちは自分たちで守る～